

平成22年11月4日

お知らせ

資料提供先

三次記者クラブ

尾道松江線の建設現場を 地元の小学生が見学します

～工事に係わる各種体験をしながら、橋梁の現場を見学～

庄原市立高野^{たかの}小学校の児童（1年生～5年生）が、国土交通省三次河川国道事務所が整備中の中国横断自動車道尾道松江線の現場を見学します。

今回案内する現場は、庄原市高野町で施工中の下門田橋^{しもんでばし}の上部工事です。見学会では、ジャッキの操作や鉄筋の組立といった体験もして頂く予定です。また当日は、小学生にあらかじめ夢や願い事を書き込んで頂いた橋梁工事の部品（この部品は、今後下門田橋の工事で使用し、コンクリート中に埋め込まれます。）の受取を行います。

国土交通省三次河川国道事務所は、工事現場の間近での見学や現場での各種体験を通し、小学生に変わりゆく自分たちの町の様子や土木技術に興味を持つとともに、土木技術の重要性について理解して頂くことを目的として、今回の見学会を開催します。

日 時：平成22年11月9日（火） 8：40～12：10

集合場所：庄原市立高野小学校（庄原市高野町^{しんいち}新市1650番地）

〔 8：40～ 工事の概要説明等が行われます。 〕

下門田橋P3橋脚（別添「現地集合場所案内図」参照）

〔 9：05頃～ 現場見学と各種体験が行われます。 〕

対 象：庄原市立高野小学校の児童・先生 約80名

※構造物の名称は、仮称です。

問い合わせ先

国土交通省 中国地方整備局 三次河川国道事務所

副所長（道路担当）

石川 庄嗣^{いしかわ しょうじ}

【担 当】建設監督官

鈴木 晃^{すずき あきら}

【広報担当】調査設計課長

丹後 浩一^{たんご こういち}

電話番号（0824）63-4121（代表）

《 参 考 》

1. 下門田橋PC上部工事について

下門田橋は、庄原市高野町で工事が進められている橋長530m、幅10.25mのコンクリート橋で、地上高が約30mあります。

この工事では、柱と柱の間を長くする必要のある橋梁でよく採用され、「やじろべえ工法」とも言われる、両手を伸ばすように橋の架設をしていく「張出し架設工法」を採用しています。

2. 夢や願い事を書き込んでいただく橋梁工事の部品とは

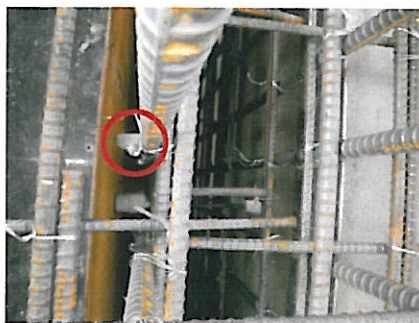
高野小学校の児童には、下門田橋の工事で必要なコンクリートの部品を事前に渡ししており、この部品に児童達の夢や願い事を書き込んでいただきます。

この部品は、「足場用インサート」、「グリップスペーサー」、「サイコロスペーサー」、「CTコン」の4種類で、下門田橋の工事の際に足場を設置したり、鉄筋・型枠を支持する時などで必要となるものです。

児童達から、これらの部品を受け取った後は、実際に下門田橋の工事で使用する予定です。



足場用インサート



グリップスペーサー



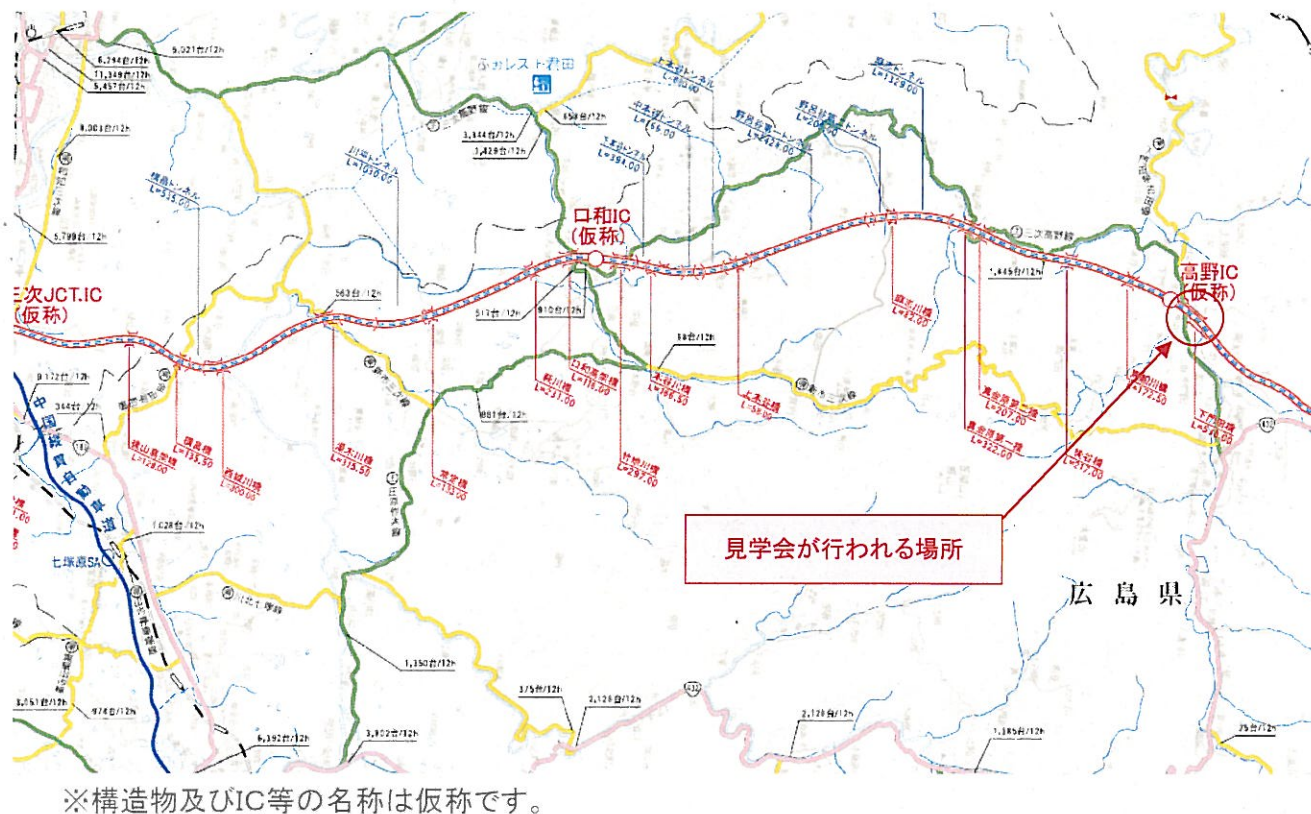
サイコロスペーサー



CTコン

※構造物の名称は仮称です。

1. 位置図



2. 現地の状況〔 庄原市高野町 下門田橋(仮称)付近 〕

(1) 三次側から松江方向を望む



(2) 松江側から三次方向を望む



3. 現地集場合場所案内図

